

学生担当者報

4

- Vol.338 -

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/吉川万寿彦 編集責任者/松村孝吉

[TEL]0743-63-1511 (内線5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780

[E-Mail]tsa@tenrikyo.jp [TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教178年

平成27年3月25日発行



先日、ある大学生に「学生にできるおたすけってどんなこと？」

と尋ねたところ、即座に「友達をおぢばへ連れ帰ることです。」と答えが返ってきました。彼らによる「春の学生おぢばがえり」などへの、一人でも多くの友に声をかける行い、思えばこれはまさににをい、がけです。教えを知らぬ人をおぢばへお連れすることほどのおたすけはなく、中には仕上げの年の各直属教会の別席団参に、是非とも誰かをお連れしようとする熱心な学生も、順に増えたように思います。

今から三十年前の教祖百年祭の時、私は高校生でした。当時、新しくなった東西礼拝場は眩しく、その中、大人たちが輝き、懸命に大勢の人を連れ、一面が笑顔でこった返す賑やかな光景は、今も心に深く残っています。そして、多くの方が喜びの涙

「年祭の旬に、全ての教会から、全ての学生をおぢばへ」

副委員長

秋岡 正直

を流される感動を見たあの日「自分もやらねば」と無性に心を駆り立てられました。その後の「教祖百年祭道の学生決起大会」にて勢いがつき、学生会から青年会へと、そして今の自分となつていったように思えます。

今、育成する側に立つてみると、自分が学生時代に見て感じた先輩の育成者が道を求められた姿勢に感謝するばかりです。私たちが仕上げる年をつとめ切らんとする日々は、後に続く学生たちの手本となるべきものでなければならぬと思います。

天理教学生会は、昨年十月に、「教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会」を発表し、道の学生一万人によるおぢばがえりを打ち出しました。これから学生たちは、今まで届かなかつた一万人という大目標に向かい、更に一段と活動を加速してくれるだろうと思います。私たち担当者も、その勇んだ動きをしつかり後押しできるよう、早からの準備を進めていかねばなりません。

その上から、この一万人動員をご守護いただく為、全ての教会から学生がおぢばへ帰ることを願い、五月より教区、直属担当委員会に向けて巡回させていただきます。

人間の一生の中で、仮に学生時代を高校三年、大学四年の七年間としても、十年に一度の年祭に、学生として出会わせてもらえるのは七割ほどです。それを思うと、この時旬ならばこそ、一人でも多くの学生をおぢばへと導き、別席を運び、ようばくへと丹精することは、この年祭活動においても外せない道の次代作りであり、今の教会や各会を見ても、その中心となる方々の多くが、これまで年祭を通じてお育ていただかれたいように思えるのです。

常々「共に育つ」ことをお教えくださいますが、学生たちがにをい、がけに熱心につとめるなら、私たちも日々のおたすけ、そして学生層の育成にこの十年で一番の力を込めてつとめ切らせてもらおうではありませんか。

立教178年 学生担当委員会 活動方針

『おたすけの喜びを学生に！』～あらきとうりよう・みちのだいとして共に育とう～

教祖130年祭 学生おぢばがえり大会
学生担当者決起の集い ご案内

この度、来年3月28日に開催いたします「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」の動員に向けて、「学生担当者決起の集い」を下記の通り行います。教区・直属学生担当委員長をはじめ委員の皆様にお集まりいただいて、「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」に向けて、大勢の学生の参加を目指し、お互いの意識を高めていきたいと思ひます。

教務ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参集くださいますようお願いいたします。

記

- 【日 程】： 立教178年5月25日（月）
- 【時 間】： 午後3時30分～5時30分（受付、午後3時～）
- 【会 場】： 本部第2食堂
- 【対 象】： 教区・直属学生担当委員長、委員、支部担当者
- 【内 容】： 「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」について
※例会はプログラムの中での諸連絡に代えさせていただきます。尚、辞令交付はございません。
※行事後、教区と直属の担当者の顔合わせの場を用意する予定です。名刺などをご持参ください。

「まなびば」開催会場一覧 《4月開催分》

教区	開催日時	場所		
北海道	4月18日14時～19日15時	教務支庁		

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。



高校生の集い「まなびば」の開催会場一覧が、【TSA website】で確認できます。参加者への啓蒙の上からも、実施計画書はお早めにご提出ください。

立教百七十八年「教祖百三十年祭 学生おぢばがえり大会」について

学生担当委員会では、立教179年3月28日に開催する「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」において、学生会が掲げる1万人という動員目標をご守護いただくために、すべての教会から学生がもれなくおぢばがえりできるよう全力で取り組むことを打ち出しました。つきましては大会の主旨徹底、並びに動員についての説明とお願いのため、学生担当委員会委員による教区巡回を実施いたします。更にそれを受けて、教区学生担当委員会より支部への巡回をしていただきますようお願いいたします。

◆教区巡回日一覧◆

教区名	巡回日	教区名	巡回日
奈良	5月29日（金）	石川※	6月2日（火）
京都	9月2日（水）	富山	10月2日（金）
三重	5月30日（土）	新潟	7月4日（土）
大阪	5月29日（金）	岡山	10月2日（金）
兵庫	6月30日（火）	広島	6月1日（月）
滋賀	7月2日（木）	鳥取※	8月30日（日）
和歌山	5月28日（木）	山口※	10月3日（土）
静岡	5月29日（金）	島根※	6月30日（火）
愛知	6月27日（土）	大分	9月3日（木）
岐阜※	6月30日（火）	福岡※	6月4日（木）
山梨	6月3日（水）	長崎	11月4日（水）
長野	5月31日（日）	鹿児島	6月1日（月）
徳島	6月30日（火）	熊本	6月4日（木）
高知	10月31日（土）	宮崎	6月1日（月）
愛媛	6月30日（火）	佐賀※	9月2日（水）
香川	10月3日（土）	沖縄	6月2日（火）
東京※	7月4日（土）	北海道	5月1日（金）
千葉	未定	福島	9月2日（水）
埼玉	7月3日（金）	宮城	5月17日（日）
群馬※	8月31日（月）	山形	7月3日（金）
栃木	8月31日（月）	岩手	6月2日（火）
神奈川	9月2日（水）	青森	6月4日（木）
茨城	8月29日（土）	秋田	7月1日（水）
福井	6月2日（火）		

※は育習と同時開催です。 ○直属巡回は日程が決まり次第随時担当者にご連絡いたします。

立教百七十八年 学生生徒修養会 大学の部 開催報告

「元をたずね、今を生き、明日を拓く」おたすけの喜びを胸に」

日増しに暖かくなり始めた三月三日、今年も学生生徒修養会大学の部が「元をたずね、今を生き、明日を拓く」おたすけの喜びを胸に」のテーマのもとに開催された。今年は五百五十五名の受講生と、おたすけの喜びを伝えるスタッフ二百六十七名がおちばで一週間を過ごした。塾体制は昨年同様、初回者塾の三塾と二回目のつなぎ塾、三回目以上のみのり塾（四年生以上は二回目も含む）の構成を取り、受講生の参加回数、学年に応じた体制で臨んだ。

初日、お引き寄せいただいた仲間との出会い、話し合いを通してお互いに心を開いていく。四日には、塾の特性に合わせ、初回者塾は基本教理を学ぶ「お道のすばらしさ」おたすけの喜び」、つなぎ塾は年祭活動を踏まえ「教祖のひながた」教祖を身近に」、みのり塾は月次祭まなびを勤める上から「おつとめ」をテーマに講義をいただいた。五日には選択講義が行われ、「教会とおたすけ」、「ようばく助産師の日々」親神様のご守護を感じて」、「なるほどの人を目指して」ようばく人生を輝かせるヒント」、「スリランカでのひのきしん活動」、「布教師の

夢、道を歩む喜び」をテーマに、各分野において活躍する講師陣のおたすけの喜びに聞き入った。また、四日と五日の午後には修練があり、基本コース、てをどり、鳴物、祭儀式、着付けなどから希望する科目を選択し、修得に励んだ。六日、リピーター塾は中席者十五名の学生が別席を運んだ。別席を運ばない学生のうち、つなぎ塾は回廊ひのきしんを、みのり塾はおつとめ衣を着用して月次祭まなびを勤める上から着付け練習を行った。また、初回者塾は塾別行事を行い、他の班との交流を深めた。六日午後よりにをいがけ演習、路傍講演の原稿作成、にをいがけ講話を聞き、士気を高め、にをいがけへの不安の中、仲間と共に勇ませ合い、励まし合いながら明日を迎えていく。

そして七日、吉川委員長より激励の挨拶を受け、ご存命の教祖の相伴をさせていただくことを誓い合い、勇んでそれぞれの布教地へ向かい、今年も、奈良、京都、大阪においてにをいがけが展開され、町中に澄みきった拍子木の音と神名が響き渡った。リーフレットを断られても「ありがとうございました」と頭を下げる者、涙を

流しながら信仰の喜びを話す者、身上者に熱心におさづけを取り次ぐ者。真実を尽くすにをいがけの姿に、御存命の教祖にもさぞかしお喜びいただけたことであろう。

八日は、みのり塾では月次祭まなびを、つなぎ塾では塾別行事としてスキットを、初回者塾は初席者五名、中席者七十一名の学生が別席を運び、他の学生は回廊ひのきしんを行った。殊に、みのり塾の月次祭まなびにおいては、修了後にも教会の御用を尚一層担わせていただくきっかけになることを願い、おつとめ衣を着用して勤めた。おつとめ衣を着用し、厳かに真剣に勤める姿は、大変有意義なものであった。そしてプログラムのまとめとして本部員永尾教昭先生より「教えの素晴らしさ」について講話いただいた。最終日は、表統領上田嘉太郎先生より代表者に修了証が授与され「このお道の信仰のありがたさを自分だけに留めるのではなく、まわりの人たちにも伝え、共にたすかつてもらえるように働きかけてもらいたい」と今後の歩み方についてご挨拶をいただき閉講した。

この度の学修大学の部で感じ得たおたすけの喜びを胸に、教祖百三十年祭へ向かう仕上げの年、学生と共に育ち、成人していく姿を教祖にご覧いただけるよう、育成活動に努めていきたい。

学生生徒修養会 大学の部

受講生感想文

今回の大学の部で得たことは、お道のすばらしさを更に知ることができたこと。そして、こんなにも多くの学生、同年代の道の友がおたすけをしようとしていて、とても勇気が出たこと。それは特に講話、にをいがけの出發の時に感じた。なぜ、親が道一条でにをいがけ、おたすけに励んでいるのか分かった気がする。

（みのり塾 大学四年生 男子）

今回の学修は自分を見つけることができた学修だった。にをいがけで、自分の未熟さを感じ、とても悩んだが、カウンセラーさんと話し、自分のことを話したり、聞いたたりして、自分の道が少し開けた気がする。教会に帰ったら、おつとめ、ひのきしんを進んでしようと思う。

（みのり塾 大学四年生 女子）

班のみなさんでお道について真剣に話し合うことで、新しい考え方もできたし、天理教が少し遠い存在になっていた私にとって刺激になり、天理教がより好きになった。にをいがけも勇気を出してがんばることで、嬉しい言葉をもったり、頑張ろうと思えるようになったので、地元に戻っても今の気持ちを忘れないように、教祖の存在を感じて生きたいと思った。

（つなぎ塾 大学二年生 女子）

今の自分に何が足りないか気づけました。今までちゃんと自分と向き合っておらず、曖昧にしてきたことが、今悩んでいることの根本になっていると実感しました。こうやって気づけたのも、同じ班の子が、夜ゆっくり話を聞いて、アドバイスをくれたからです。また、同じ班の人とたくさん練り合いをする中で、色々な人がいるなあと感じ、認め合うことは大切だと思いました。色々な人の価値観に触れ、自分に無いものをいっぱい発見して、勉強になりました。同じ大学生でもあり、教

友でもある仲間と語り合えたことは、私にとつてとても貴重な経験となりました！今まで女子青年とかに参加したことが無かったのですが、今後機会があれば是非参加してみたいと思いました。今回所属教会の会長さんに手紙を書き、恥ずかしかったですが、これからは一ようばくとして使ってもらえる存在になれるよう、今できることからやっていきたいと思います。

（よふき塾 大学三年生 女子）



カウんセラー感想文

学生生徒修養会 大学の部

私は今回、初めてリピーター塾でカウんセラーをさせていただきました。受講生とは年も近いし、どう学生と接したらいいだろうかと思っていました。しかし、直前研修会で大学生の時の同級生とカウんセラーと一緒にすることが決まり、お互い大教会で勤めていたので、学生に伏せ込みの喜びを伝えようということを決めました。ありのままの姿で自ら学生に心を開き、かつこつけずに今まで通ってきた全てを学生にぶつけさせてもらおうと思いました。

グループタイムでは、今までのありのままの自分をお互い語り合い、そして信仰の喜びを語り合いました。講義を聴かせていただき、ねりあいを重ねました。青年会、婦人会の時間では、男はあらしとよりよう、女はみちのだいを心に納め、すこく勇んだ姿を見せ、にをいがけに向けて着々と信仰の喜びを感じていました。にをいがけも勇んでさせていただき、教祖百三十年祭まであと十カ月のこの旬に、おたすけの喜びを

少しでも感じさせていただけたいように思います。にをいがけも終わり、最終日前日、みのり塾は月次祭まなびをさせていただきました。月次祭まなびに向け、毎日真剣におてふり、鳴り物を練習しました。一人ひとりがおつとめをさせていただく喜びを感じ、大きな声で唱和し、勇んでつとめていました。私自身、こんな勇んだ月次祭まなびは初めて体験しました。おつとめの大切さ、勇んだおつとめは私達の心に刻まれたと思います。また、おつとめ衣を着てつとめさせていただくことで、学生たちは所属教会でおつとめ奉仕者としてこれからつとめさせていただくことを意識できたのではないかと思います。

今回学修を通して思ったことは、日々の通り方が学生に伝わるということです。今回受講した学生がこれからおたすけの喜びを心に納めるには、私達があらしとよりよう、みちのだいとして日々を勇んで通らせていただくしかないと思います。年祭に向け、立教百七十九年の学修に向け、これからしっかり理づくりさせていただきます。

(みのり塾 男子カウんセラー)

受講生感想文

親の信仰から自分の信仰になりつつある今、学生である私たちは、今だからたくさんのことを学べるんだと思いました。全てに感謝です。学修に関わっていただいたスタッフさん、詰所の方や、リーフレットを受け取ってくれた人たち、学修を勧めてくれた人、学修に行かせてくれて、信仰をしてくれている親と、教会に住めて毎日おつとめできる環境にあること、班のみんなとカウんセラーさん、天理教、教祖など：：きりがありません。全てに「ありがとう」の気持ち忘れずに、これから春学に向けてがんばります。天理教って最高!!

(まこと塾 大学一年生 女子)

初めて行ったにをいがけを通して、気持ちを伝える難しさと、大切さ、そして勇気を出すことを学ぶことができました。今後、信仰していく上での心の持ち方、行動の仕



方を深く考える時間となりました。班での話し合いや行動を通しては、同世代の仲間の熱い信仰心を感じ、感動しました。同じ班の人から色々と信仰について話を聞いて、考えることが多かったです。これからの人生にしっかり活かしたいと思います。

(いさみ塾 大学一年生 男子)

大学の部 受講生データ

●保護者の立場別

	男	女	合計
教会長(後継者)	213	133	346
布教所長(後継者)	16	15	31
ようぼく	69	82	151
信者	7	7	14
未信者	6	7	13

●本人の立場

	男	女	合計
ようぼく	250	183	433
教人	2	1	3
別席運び中	52	58	110
その他	7	2	9

※直属別集計はp6~7に掲載しております。

立教178年 学生生徒修養会

修了者数 555名

男子 311名 (56%)
女子 244名 (44%)

●学校別／参加回数別

	男	女	合計
天理大学	164	70	234
その他	147	174	321
二回目以上	105	88	193
初参加	206	156	362

●別席者集計

	男	女	合計
初席	5	0	5
中席/満席	44	42	86
合計	49	42	91

立教178年 学生生徒修養会 大学の部 直属別データ

※受講生データはp4～5に掲載しています。

番号	直属	男	女	合計
0	本部	7	6	13
1	郡山	6	5	11
2	兵神	12	3	15
3	山名	3	1	4
4	船場	3	3	6
5	河原町	8	8	16
6	撫養	1	2	3
7	東	0	2	2
8	敷島	15	6	21
9	日本橋	1	0	1
10	高安	8	7	15
11	南海	1	3	4
12	芦津	3	3	6
13	高知	1	6	7
14	北	2	3	5
15	湖東	4	5	9
16	甲賀	2	4	6
17	水口	0	1	1
18	中河	8	8	16
19	名京	1	1	2
20	中和	3	2	5
21	櫻井	3	1	4
22	筑紫	0	0	0
23	越乃國	6	2	8
24	名東	4	1	5
25	麴町	0	0	0
26	日光	0	0	0
27	飾東	2	1	3
28	東本	4	4	8
29	嶽東	5	5	10
30	島ヶ原	2	2	4
31	堺	0	0	0
32	御津	2	3	5
33	城法	6	3	9
34	生野	0	0	0
35	東愛	7	3	10
36	本島	3	5	8
37	牛込	3	1	4
38	深川	0	2	2
39	浅草	0	2	2
40	西陣	0	1	1
41	大縣	1	1	2
42	社	0	3	3
43	神川	2	0	2

番号	直属	男	女	合計
44	笠岡	2	4	6
45	西宮	2	1	3
46	明和	5	3	8
47	明城	0	0	0
48	大江	2	1	3
49	旭日	3	1	4
50	池田	2	3	5
51	阪東	0	1	1
52	蒲生	0	1	1
53	日野	1	1	2
54	朝倉	1	3	4
55	佐野原	1	0	1
56	高岡	0	2	2
57	愛知	2	0	2
58	梅谷	2	4	6
59	平安	1	0	1
60	豊岡	1	1	2
61	治道	1	1	2
62	都賀	2	0	2
63	川之江	0	1	1
64	周東	3	0	3
65	南阿	3	1	4
66	香川	0	1	1
67	中紀	4	0	4
68	津	0	0	0
69	秩父	3	1	4
70	中津	0	0	0
71	岐美	3	2	5
72	熊本	1	0	1
73	那美岐	1	0	1
74	中野	1	2	3
75	秦野	2	1	3
76	立野堀	1	3	4
77	中央	0	0	0
78	南紀	3	1	4
79	北陸	3	3	6
80	東濃	3	0	3
81	岡	0	1	1
82	八木	2	0	2
83	洲本	1	1	2
84	錦江	1	1	2
85	繁藤	3	0	3
86	大森町	1	2	3
87	防府	4	2	6

※受講生のいない直属分教会は掲載しておりません。

番号	直属	男	女	合計
88	愛豫	0	5	5
89	津輕	0	0	0
90	阿羽	2	1	3
91	伊野	2	0	2
92	磐城平	0	0	0
93	西海	5	3	8
94	新潟	0	1	1
95	中根	0	0	0
96	肥長	1	0	1
97	名古屋	4	0	4
98	奈良	0	0	0
99	西	1	2	3
100	上之郷	0	3	3
101	益津	2	0	2
102	小牧	3	1	4
103	府内	0	3	3
104	東肥	0	1	1
105	都	2	0	2
106	西成	0	2	2
107	南	2	2	4
108	山陰	2	0	2
109	鹿島	1	2	3
110	此花	5	2	7
111	仙臺	1	0	1
112	東海	4	0	4
113	大島	1	0	1
114	古市	0	0	0
115	神崎	1	0	1
116	甲府	0	1	1
117	本保	1	1	2
118	本愛	3	1	4
119	本芝	1	0	1
120	山國	0	0	0
121	京城	2	2	4
122	東神田	2	5	7
123	北洋	3	1	4
124	宇佐	3	0	3
125	岡山	1	0	1
126	泉	0	0	0
127	東中央	0	0	0
128	城山	0	0	0
129	静岡	0	0	0
130	白羽	0	0	0
131	伊那	1	0	1
132	小南部	1	0	1
133	雨龍	1	0	1

番号	直属	男	女	合計
134	愛静	0	0	0
135	紀陽	1	0	1
136	大垣	2	1	3
137	鎮西	1	0	1
138	生駒	3	1	4
139	中背	0	1	1
140	高松	0	4	4
141	五條	3	4	7
142	沼津	0	0	0
143	網干	0	0	0
144	宇仁	0	0	0
145	双名島	0	3	3
146	夕張	0	0	0
147	山陽	1	0	1
148	本荘	0	2	2
149	国名	0	0	0
150	玉島	2	1	3
151	網走	0	0	0
152	松阪	2	0	2
153	越知	2	0	2
154	本理世	6	7	13
155	加古	1	1	2
156	秋津	1	0	1
157	幅下	3	3	6
158	亀岡	0	0	0
159	大原	2	1	3
502	尾道	0	1	1
503	淀	2	1	3
505	栗太	1	0	1
508	琵琶	0	1	1
512	田原	1	0	1
514	豊繁	1	0	1
516	玉江	0	1	1
517	天元	1	0	1
518	浪華	1	0	1
520	高宮	1	0	1
531	更立	1	1	2
539	生琉里	1	1	2
548	治文	1	0	1
555	大阪	1	0	1
572	神奈川台	1	0	1
580	山西省	0	1	1

立教百七十八年 学生生徒修養会 高校卒業生コース 開催報告

「元をたずね、今を生き、明日を拓く
おたすけの喜びを胸に」

本年新設の「学生生徒修養会 高校卒業生コース」が、三月六日から三月八日、おぢばにおいて開催された。これは、高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進むこの大切な時期に、親神様の御教え、教祖のひながたを再確認するとともに、親神様、教祖はもとより、親やこれまで自分を支えて下さった方々への感謝の気持ちを確かめ合い、同世代の道の仲間とのつながりを深められるよう、一から内容を検討し企画されたコースである。卒業後、受講生がどのような環境においても、おぢば、教会に繋がりが、信仰に根ざした生活を送ることができるよう、受講生一〇六名とともにスタッフ三十名が密度の濃い三日間を、おぢばで過ごした。

初日の受付時には、新設コースということもあり、スタッフ一同も手探り状態ではあったが、大きな混乱はなく順調にスタートした。受講生の緊張もウォーミングアップにより徐々にほぐれていく。期間を通して一班十名程の受講生に対し男女カウンセラーが付き添い、初日は主に

グループタイムを通し、普段当たり前だと思っていることがどれほど有り難いことなのか、お互いに気づいていく。その上で親神様の御守護の尊さについてお話を聴いた。

二日目には、本部准員平野知三先生より「教祖を慕う」と題して講話をいただき、スライドを見ながら教祖のひながたを学んだ。その後、講話振り返りの時間を持ち、それぞれが教祖に対する思いを正直に語り合うことで、より一層教祖を身近に感じさせていくことができた。午後からの全体行事では、お楽しみ要素を盛り込んだプログラムを行い、大変和やかな雰囲気

で班員以外の大勢の仲間と親睦を深めた。班タイムと称した班独自の時間には、天理駅まで神名流しをする班、神殿のトイレ掃除をする班、班の中でインタビューをするエクササイズを行う班など、それぞれの班の状況に応じ有意義に過ごした。

夜には電池式ランタンを囲み淡い光の中で、「自分の信仰と夢を語る」と題して班内感話をまだまだやな」と実感しました。これから、自分が言ったことや思ったことを常に頭において信仰をしていきます。

(女子受講生)

受講生感想文

学生生徒修養会 高校卒業生コース

三日間を通して、身の回りのご守護は自分が思っていた以上に多く、もっと様々な事に感謝できるということを学びました。これからは、もっと人に優しく低い心で通りたいと思うし、色んな事に喜んで通りたいと思いました。また、同年代でも色んな経験をしていると知り、これから出会う人からも色んな話を聞けたら良いなと思います。

(男子受講生)

私は今回、大教会の奥様のお話に、「親孝行をしなさい」とあって、日々お世話になっている教会長さんに親孝行をしたいと思ったことから参加を決めました。心に残ったプログラムは「あなたの信仰と夢」というグループタイムです。このプログラムを通して、色んな人の話を聞き、「自分は

行った。親や教会長さんなど、今まで育ててくれた方々に教えてもらったことや言葉を思い起こし、今の自分の正直な気持ちを語り、班員が皆真剣に聞き入った。照明の効果も手伝ってか、今まであまり自分の話をしなかった者も語り出し、涙ながらに語る者など、より一層、班員同士お互いを尊重し合う貴重な時間となった。

最終日には、塾長より「明日の君たちへ」と題した講話を聴いた後、講話を振り返るとともに、この三日間で学んだことを再確認した。そして、教えを基にこの先自分がどう歩んで行くのかを決意し、シートに書き記し、封筒に入れて自分の宝物として持ち帰った。これは、それぞれが新生活をスタートする頃、開封してシートを読み返すことで、おぢばで学んだことや気づいたことを思い起こしてもらうための自分の宝物である。

閉講式において、担当常駐東井光則先生より、高校卒業生にご期待下さるところをお話しいただき、修了者は一〇六名。一同真剣な面持ちで修了を迎えた。

二泊三日、終始過密なスケジュールであったが、高校卒業生が積極的な姿勢で受講して下さい、無事に本コースを開催できたことをここに報告する。

立教178年 学生生徒修養会 高校卒業生コース 受講生データ

修了者数 106名

男子 51名 (48%)
女子 55名 (52%)

●在学

天理高校Ⅰ部	16
天理高校Ⅱ部	2
教校学園高校	20
その他高校	68

●本人立場

ようぼく	57
運び中	43
その他	6

●保護者の立場

教会長(後継者)	50
布教所長(後継者)	10
ようぼく	39
信者	2
その他	5

〈屋内〉まなびば研修会
開催報告

二月二十六、二十七日の二日間、第十二母屋において、〈屋内〉まなびば研修会を開催した。今回の研修会には、二十一教区、また海外部からの受講を含め七十名が参加した。

研修会初日は、主に自己紹介やグループづくりを行うグループタイム（以下GTと表記）GT①「なかよしウォッチ」、GT②「キミノエガ」の体験、及び進め方説明。二日目は、GT③④の体験、及び進め方説明を行った。メインとなるGT③「こちら、あたりまえ研究所」では、身体と自然に見られる親神様の十全の守護について学び、また理解を深めることをねらいとして行われた。また「おはなし」では、日頃当たり前の中にある有難さへの気付きを改めて実感する内容となった。

GT④「私、〇〇します。」では、まなびばで学んだ事を再認識し、また日常生活でいかに実践するかを具体的に考えてみる体験をした。その後、まなびば担当者である愛媛教区の酒井美加さんと、群馬教区の狩野慎一朗さんが体験発表を行った。酒井さんには、まな

びばの現場で学生と関わる中に、どのように接して行けば良いか、また、少しでもまなびばの動員につなげていくためにはどうすれば良いかなど、日々努力されていることについてお話しいただいた。群馬教区の狩野さんからは、前任の方が作られた教区まなびばチームを引き継ぐとともに、現在は運営面やチームとのパイプ役を果たしていることや、教区でのこれからの課題についてなど、まなびば担当者として熱心に取り組んでいただいている様子についてお話を聞かせていただいた。

最後に閉講式では、吉川委員長よりまなびばのアンケートを例に挙げ、まなびばに参加した学生の感想について触れながら、今後のまなびばの動員における学生のネットワークの重要性について話があった。

平成二十七年屋内まなびばプログラムでは、「親神様のご守護」あたりまえってなんだろう」というテーマをきっかけ、親神様の十全の守護について学び、普段当たり前になっていることにあらためて目を向けることで、当たり前が実は有難いということを少しでも感じてもらえる内容となっている。各教区における開催、さらなる動員をお願いする。

青空

私は大学生の時、一れつ会扶育を頂く際に「学生層育成要員」を希望し、そこで本部学生担当委員会の先生方にご指導頂いた。大学卒業後、天理高校みのり寮幹事として三年間伏せ込ませていただき、三百六十五日一つ屋根の下で約二百名の生徒と寝食を共にし、泣いたり、笑ったり、時には喧嘩したこともあったが、その一つ一つがかけがえのない宝物になったように思う。

幹事を退任する前、「今後も学生層育成に携わりたい。大学時代にお世話になった学生担当委員会の先生方に恩返しをしたい」。そう考えていたから学生担当委員会での勤務が決まった。大学時代にお世話になった「学生層育成要員」の担当にもなり、お世話になった先生方に恩返しできるように勤めさせていただいた。事務局で勤務させていただいてから早くも三年の月日が流れ、「学生層育成要員」の担当は外れたが、それを志す彼らに「お世話になった人に何かの形で恩返しできる人になってもらいたい」。心からそう願っている。今年には教祖百三十年祭に向かう三年千日仕上げの年。「若さ」という徳分をフルに活かし、学生一人ひとりにお道の素晴らしさを伝えていけるように前を向いて歩いて歩んでいきたい。

人材育成部局長 山口真衣

立教178年〈屋外〉まなびば研修会 開催要項

平素は、高校生の集い「まなびば」開催の上にご尽力いただき、誠にありがとうございます。
この度、「まなびば」の活性化、また学生層育成を担う人材づくりの上に、〈屋外〉まなびば研修会を開催いたします。まなびば担当者はもちろん、まなびばスタッフも是非ともご受講ください。

記

【日時】 立教178年5月27日（水）～28日（木）

集合・受付 〃 〃 〃 5月27日 〃 〃 〃 9:00

解散予定 〃 〃 〃 5月28日 〃 〃 〃 11:30

【会場】 本部第12母屋（駐車場は北2駐車場をご利用ください）

【対象】 ・まなびば担当者
・まなびばスタッフ（各教区まなびば担当者を除く3名まで受講可）

【内容】 〈屋外〉まなびばの体験、進め方説明

【受講費】 2,000円 ※まなびば担当者は免除

【携行品】 ハッピー、保険証、筆記用具、雨具、その他宿泊に必要なもの
※女性はズボン着用でご集合ください。

【申し込み】 申込用紙に必要事項を明記の上、受講費を添えて学生担当委員会事務局にお申し込みください。

【申込締切】 立教178年5月15日（金）

【問い合わせ】 天理教学生担当委員会事務局

Tel 0743-63-2489（直通） 内線 5817

《まなびば担当者へ》

〈屋外〉まなびば研修会は、まなびば担当者研修会も兼ねておりますので、〈屋内〉まなびば研修会を受講できなかった方は本研修会を必ず受講いただきますようお願いいたします。尚、〈屋内〉まなびば研修会を受講された方もご参加いただけます。

Happist 5月号 予告

【特集】

春の学生おぢばがえり 式典・真柱様お言葉

連載

・教理コーナー

希望の灯～おやさまのひながたに学ぶ～ 平野 知三（本部准員）

・信仰エッセー

明日の地図ひろげて 入江 和徳（本理世大教会長）

・人生を彩る1冊をあなたに。

虹色のしおり 上田 和子（浪華分教会教人）

・東馬場先生と学ぼう！

Happist ニュース 東馬場 郁生（天理大学国際学部教授）

明日につながる学生マガジン Happist 5

個人宅に直接<Happist>が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

＜H a p p i s t＞ 個人購読

学生層育成のための月刊誌＜Happist＞は、お道の教えと情報を伝えるとともに、教理を求める手掛かりとして、また教会と高校生、大学生、専門学校生をつなぐ声かけの一助として活用されています。

個人購読とは、学生担当委員会より学生本人の下宿先などへ直接＜Happist＞を送るものです。

手渡しが困難な学生がおられましたら、是非ご活用ください。

【要項】

購読期間：購読開始月から同年度3月号まで。
年度ごとに更新手続きが必要になります。2月号発送時に更新手続き用紙を同封いたします。

対象：高校生・大学生・専門学校生など学生層全般。

申込方法：所定の申し込み用紙に記入の上、学生担当委員会事務局に直接、または郵便、FAXにて提出してください。料金のお支払いが確認でき次第発送いたします。
また、TSA websiteからも申し込み可能です。

支払方法：下記の購読料金を参照の上、学生担当委員会事務局にて直接お支払いいただくか、事務局よりお渡しいたします振込用紙にて郵便振込となります。

購読料金 （ひと月1冊100円＋送料80円＝180円）

4月号～	5月号～	6月号～	7月号～	8月号～	9月号～	10月号～	11月号～	12月号～	1月号～
2,160円	1,980円	1,800円	1,620円	1,440円	1,260円	1,080円	900円	720円	540円

※上記は購読開始月から3月号までの購読料です。

お知らせ

四月例会

・期日 立教178年4月25日

・時間 15時半受付 16時開始

・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【直属】

・河原町 4月14日19時～ 大教会

・防府 4月16日12時～ 大教会

報告

二月例会

去る2月25日、教庁4階講堂に於いて「二月例会」を開催。出席は43教区、138直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・岩手 2月2日 教務支庁 30名

葛西委員出向

第52期 天理教学生会委員総会 開催要項

日頃は学生会活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

この度、お道につながる学生が全国の仲間とのつながりを感じ、教祖130年祭、「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」に向けて一手一つに活動を進めていけるよう、委員総会を開催させていただきます。

活動方針の議決、講話、練り合いのほか、3日目には「教祖130年祭 道の学生決起の集い」に参加します。

何卒貴教区・直属の学生リーダーにお声がけいただきますよう、よろしくお願いします。

- 【趣 旨】 教区・直属学生リーダーがおぢばに帰り集い、それぞれの活動について話し合い、さらには道の学生成人目標に掲げる教会につながることの大切さを学ぶ。そして、第52期天理教学生会の活動方針を決定し、「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」参加者1万人を目指して、勢いをもって活動していくことを決意する。
- 【日 程】 5月3日（日）10時集合 5月5日（火）16時解散（予定）
- 【参加対象】 各教区・直属学生委員長及び学生リーダー（高校生から大学生の年齢層）
※各教区・直属3名まで（委員長・代表者が不在の場合でも3人参加可能）
※学生会が結成されていない直属も是非ご参加ください
- 【参 加 費】 ひとり 1,500円 ※当日、お持ちください
- 【宿 舎】 第12母屋
- 【持 ち 物】 参加費、保険証、筆記用具、ハッピー、合宿に必要なもの、傘、常用薬

「教祖130年祭 道の学生決起の集い」開催のご案内

日々は、学生活動の上にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、教祖130年祭、「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」を迎えるこの節目の年に、道の学生が一手一つに、さらに勢いをもっておたすけを実践していくために、下記のとおり「教祖130年祭 道の学生決起の集い」を開催いたします。ご多用のことと存じますが、何卒貴教区、直属の学生へお声がけいただきますよう、よろしくお願いします。

- 【趣 旨】 学生リーダーがおぢばに帰り集い、教祖130年祭、「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」について理解を深め、その意義を再確認して一人ひとりが思いを高める。そして、年祭活動最後の年をさらに勢いをもって歩んでいくことを誓い合う。
- 【日 程】 5月5日（火）9時半開始（9時受付） 12時30分頃 解散予定
※事前の申し込みは不要です。当日、受付にお越しください。
- 【参加対象】 教区・直属・おやさと管内学生生活動リーダー層
- 【場 所】 本部第二食堂
- 【持 ち 物】 ハッピー、筆記用具
- 【内 容】 講話、大会実行委員長の話、誓いのおつとめなど

《問い合わせ》

〒632-0035 奈良県天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階

Tel 0743-63-1511 内線 5820（天理教学生会）

Tel 0743-63-2489 内線5817（天理教学生会担当委員会事務局）

学生担当者報

・神奈川	2月2日	教務支庁	50名
・大分	2月2日	教務支庁	50名
・山口	2月3日	秋岡副委員長出向	
・京都	2月11日	教務支庁	20名
・香川	2月11日	松村副委員長出向	
		葛西委員出向	46名
【直属学生層育成者講習会】			
・東中央	2月19日	大教会	120名
・嶽東	2月20日	安井委員出向	340名
・松阪	2月20日	深谷委員出向	105名
・笠岡	2月21日	飯降委員出向	241名
・甲府	2月22日	森井委員出向	96名
・双名島	2月22日	宮田委員出向	100名
・越乃國	2月23日	田邊委員出向	90名
		吉川委員出向	

人事

・生野	2月23日	大教会	105名
・中和	2月24日	大教会	300名
・東神田	2月24日	大教会	95名
		吉川委員長出向	
《立教178年2月25日付》			
【教区学生担当委員長辞令交付】			
・後藤廣信（愛知教区）			
【直属学生担当委員長辞令交付】			
・渡邊英一郎（山名・濱松）			
・加藤義之（本保・豊玉）			
《立教178年3月1日付》			
【学生担当委員会事務局新局員】			
・江口真邦（京城・満榮）			

業務記録

《立教178年2月16日～3月15日》	
2月16日	学修高校の部研究室会議
17日	学修部部会
19日	春学プロジェクト会議
20日	学生連絡会
20日	事務局連絡会
20日	【Happy's】納品

23日	【Happy's】梱包
24日	担当者活動部部会
25日	委員会
	例会
	広報室会議
	出版部部会
26日	《屋内》まなびば研修会（～27日）
28日	担当者活動部部会
3月1日	学修大学の部直前研修会（～3日）
3日	学修大学の部（～9日）
5日	学修高校卒業生コース
6日	直前研修会（～6日）
10日	学修高校卒業生コース（～8日）
10日	委員会
11日	学修部部会
11日	学修高校の部研究室会議
12日	学修部部会
12日	教祖130年祭学生おちばがえり大会
	プロジェクト会議
13日	屋外プログラムチーム会議
13日	担当者活動部部会
13日	学修部部会
13日	学生連絡会
13日	春学プロジェクト会議
13日	屋外プログラムチーム会議